

【A年】

降臨節第二主日

慈しみ深い神よ、あなたは悔い改めを宣べ、救いの道を備えるため、預言者たちを遣わされました。その警告を心に留め、罪を捨てて恵みをわたしたちに与え、贖い主イエス・キリストの来臨を、喜びをもって迎えることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第十一章一節から」

1 エッサイの株からひとつの芽が萌えいで
その根からひとつの若枝が育ち
2 その上に主の霊がとどまる。

知恵と識別の霊
思慮と勇気の霊
主を知り、畏れ敬う霊
3 彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。
目に見えるところによって裁きを行わず
耳にするところによって弁護することはない。
4 弱い人のために正当な裁きを行い
この地の貧しい人を公平に弁護する。
その口の鞭をもって地を打ち
唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。
5 正義をその腰の帯とし
真実をその身に帯びる。

6 狼は小羊と共に宿り
豹は子山羊と共に伏す。
子牛は若獅子と共に育ち
小さい子供がそれらを導く。
7 牛も熊も共に草をはみ
その子らは共に伏し
獅子も牛もひとしく干し草を食らう。
8 乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ
幼子は蝮の巣に手を入れる。
9 わたしの聖なる山においては何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。
水が海を覆っているように

大地は主を知る知識で満たされる。
10 その日が来れば

エッサイの根は
すべての民の旗印として立てられ
国々はそれを求めて集う。
そのとどまるところは栄光に輝く。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第七十二編 一八節

- 1 神よ、あなたの正義を王に与え＝ あなたの正しさを王の子に授けてください
- 2 王が正しく民を治め＝ 正義をもって貧しい人を計らうように
- 3 山は民に平和をもたらし＝ 丘は正しさの実をもたらす
- 4 王は貧しい人の訴えを聞き＝ 貧しい者の子らを救い、権力を振るう者を打ち砕く
- 5 王は太陽のように栄え＝ 月のように生き長らえる
- 6 牧場に降る露のように＝ 地を潤す雨のように王は来る
- 7 彼が治める世には、正しい人が栄え＝ 月のある限り平

和が續く
8 王は海から海まで＝ 川から地の果てまで支配する

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第十五章四節から」

4 かつて書かれた事柄は、すべてわたしたちを教え導くためのものです。それでわたしたちは、聖書から忍耐と慰めを学んで希望を持ち続けることができます。5 忍耐と慰めの源である神が、あなたがたに、キリスト・イエスに倣って互いに同じ思いを抱かせ、6 心を合わせ声をそろえて、わたしたちの主イエス・キリストの神であり、父である方をたたえさせてくださいますように。

7 だから、神の栄光のためにキリストがあなたがたを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに相手を受け入れなさい。8 わたしは言う。キリストは神の真実を現すために、割礼ある者たちに仕える者となられたのです。それは、先祖たちに対する約束を確証されるためであり、9 異邦人が神をその憐れみのゆえにたたえるようになるためです。

「そのため、わたしは異邦人の中であなたがたをたたえ、

あなたの名をほめ歌おう」

と書いてあるとおりです。10 また、

「異邦人よ、主の民と共に喜べ」

と言われ、11 更に、

「すべての異邦人よ、主をたたえよ。

すべての民は主を賛美せよ」

と言われています。12 また、イザヤはこう言っています。

「エッサイの根から芽が現れ、

異邦人を治めるために立ち上がる。

異邦人は彼に望みをかける。」

13 希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜

びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望

に満ちあふれさせてくださるように。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第三章一節以下に記された主

イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

1 そのころ、洗礼者ヨハネが現れて、ユダヤの荒れ野で宣
べ伝え、2 「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言った。

3 これは預言者イザヤによってこう言われている人である。

「荒れ野で叫ぶ者の声がする。

『主の道を整え、

その道筋をまつすぐにせよ。』」

4 ヨハネは、らくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いな

ごと野蜜を食べ物としていた。5 そこで、エルサレムとユ

ダヤ全土から、また、ヨルダン川沿いの地方一帯から、人々

がヨハネのもとに来て、6 罪を告白し、ヨルダン川で彼か

ら洗礼を受けた。

7 ヨハネは、ファリサイ派やサドカイ派の人々が大勢、

洗礼を受けに来たのを見て、こう言った。「蝮の子らよ、差

し迫った神の怒りを免れると、だれが教えたのか。8 悔い改

めにふさわしい実を結べ。9 『我々の父はアブラハムだ』

などと思ってもみるな。言っておくが、神はこんな石からで

も、アブラハムの子たちを造り出すことがおできになる。10

斧は既に木の根元に置かれている。良い実を結ばない木は

みな、切り倒されて火に投げ込まれる。11 わたしは、悔い改

めに導くために、あなたたちに水で洗礼を授けているが、

わたしの後から来る方は、わたしよりも優れておられる。わ

たしは、その履物をお脱がせする値打ちもない。その方は、
聖霊と火であなたちに洗礼をお授けになる。¹²そして、手
に箕を持って、脱穀場を隅々まできれいにし、麦を集めて倉
に入れ、殻を消えることのない火で焼き払われる。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」